



PRESS RELEASE



新国立劇場バレエ団
バレエ・コフレ 2026

Ballet Coffret 2026

The National Ballet of Japan

A Million Kisses to my Skin／ファイヴ・タンゴ＜新制作＞／テーマとヴァリエーション
珠玉のバレエ、豪華三本立て！

新国立劇場バレエ団は 2026 年 2 月に、20 世紀の珠玉の作品を三本立てで楽しめる公演を上演します。 「コフレ」とは「宝石箱」を意味するフランス語。様々な魅力を放つ 3 作品が感性を刺激する、特別なプログラムをお届けします。

マーネンの情熱的な『ファイヴ・タンゴ』を新制作で、そして爽やかなエネルギーを感じさせるドウソンの『A Million Kisses to my Skin』、バランシンの華やかな『テーマとヴァリエーション』を上演します。 『ファイヴ・タンゴ』は吉田監督が就任当初からレパートリー入りを計画しておりましたが、コロナ禍の影響で延期となり、このたび待望のレパートリー入りを果たします。

選りすぐりの作品をお届けするトリプル・ビルでは、物語の世界に浸る全幕バレエとは一味違うバレエの楽しみがあります。各作品にはプリンシパルを筆頭とする精銳のダンサーたちが次々と登場し、古典バレエとは違った輝きを放ちます。それぞれに優れた音楽、美術、振付からなる短いバレエが厳選されたプログラムで、多彩な刺激と楽しみ、そして満足感を得ることができるトリプル・ビルです。

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN
New National
Theatre, Tokyo

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

作品解説

『A Million Kisses to my Skin』

英国の振付家デヴィッド・ドウソンによる作品で、2000年にオランダ国立バレエで初演されました。ドウソンはプログラムノートで、この作品でクラシックバレエダンサーとしてのキャリアに別れを告げ、新たな表現を目指したと語っています。バッハのピアノコンチェルトにのせて踊られる、バランシンを思わせるネオ・クラシック・スタイルのバレエは見るものを魅了します。

Photo by Takashi Shikama



『ファイヴ・タンゴ』

当作品は現代タンゴの巨匠、ピアソラの名曲に振り付けられ、1977年にオランダ国立バレエで初演されました。ハンス・ファン・マーネンの作品の中でも多くのバレエ団のレパートリーとして上演されている作品のひとつで、タンゴの楽曲に乗せた情熱的な大人のバレエです。

©Satoshi Yasuda



『テーマとヴァリエーション』

バランシンが1947年に発表した作品で、チャイコフスキイと帝政ロシア・バレエへのオマージュとして知られています。ステップや身体の動きでチャイコフスキイの音楽がより細かく表現され、優美で品格漂う作品です。新国立劇場バレエ団では、2000年の初演以来再演を重ね、アンサンブルの美しさで高い評価を受けています。「見る音楽」と評されるバランシンの振付をご堪能ください。

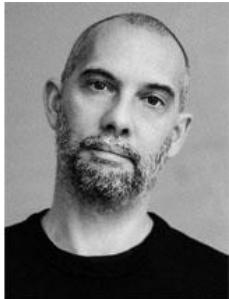
The Performance of Theme and Variations, a Balanchine® Ballet, is presented by arrangement with The George Balanchine Trust and has been produced in accordance with the Balanchine Style® and Balanchine Technique® Service standards established and provided by the Trust.

Photo by Takashi Shikama



スタッフプロフィール

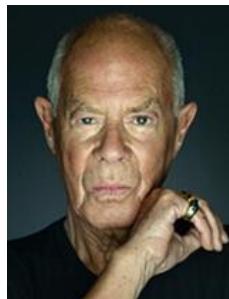
【『A Million Kisses to my Skin』振付】デヴィッド・ドウソン David DAWSON



ロンドン生まれ。英国ロイヤルバレエ学校卒業後、1991年ローザンヌ国際バレエコンクール入賞、同年バーミンガム・ロイヤルバレエに入団。94年イングリッシュ・ナショナル・バレエにソリストとして入団、翌年オランダ国立バレエに移籍。2000年にはフランクフルト・バレエ団に移り、ウィリアム・フォーサイスの作品を踊る。同バレエ団で2年余りダンサーとして活躍後、振付家としての活躍を開始した。今日のクラシックバレエ界における最も優れた英国人振付家の一人で、現代的な手法でクラシックバレエを振り付け、彼の著名な作品群は世界中で上演され高い評価を得ている。

『The Grey Area』でブノワ賞振付部門受賞、同作品で英国舞踊批評協会賞にノミネート、マリインスキー劇場バレエのために振り付けた『Reverence』で英国人振付家初となる、ロシアの舞台芸術における最も権威のあるゴールデン・マスク賞を受賞するなど数々の賞を受賞している。

【『ファイヴ・タンゴ』振付】ハンス・ファン・マーネン Hans van MANEN



オランダ・アムステルフェーン生まれ。1951年ソニア・ギャスケル・バレエ・リサイタルの一員としてキャリアをスタートさせる。52年ネザーランド・オペラ・バレエに加わり、最初の作品『Feestgericht』を振付。その後ローラン・プティのバレエ・ド・パリに加わる。60年にはネザーランド・ダンス・シアターの創設に参加、63年までダンサー、振付家として活躍し、1961~1971年芸術監督も務める。73年オランダ国立バレエに参加、1988~2003年ネザーランド・ダンス・シアターの常任振付家、03年オランダ国立バレエの常任振付家も務める。これまでに創作したバレエは120以上におよぶ。作品は明瞭な構成、洗練されたシンプルさを特徴とする。オランダ以外でシュトゥットガルト・バレエ団、バイエルン州立バレエ、ベルリン・オペラ、ヒューストン・バレエ、カナダ国立バレエ、英国ロイヤルバレエ、デンマーク王立バレエ、ウィーン国立歌劇場、アル

ヴィン・エイリー・アメリカン・ダンス・シアターなど世界各国で作品が上演されている。1992年オランダ女王陛下からオラニエ・ナッソー勲章のナイトの称号を与えられた。2005年にはブノワ賞受賞等数々の賞を受賞している。新国立劇場バレエ団では14年『大フーガ』を上演。25年逝去。

【『テーマとヴァリエーション』振付】ジョージ・バランシン George BALANCHINE



1904年サンクトペテルブルク生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年に国立オペラ・バレエ（現マリインスキー劇場バレエ）に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。並行して、ペトログラード音楽院で音楽理論とピアノを学んだ。24年同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエ・リュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振付けた。33年に渡米、リンカーン・カースティン等とスクール・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。

【指揮】富田実里 TOMITA Misato



埼玉県出身。国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部指揮教室等で指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、英国イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、日本でも東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団、「NHK バレエの饗宴」ほかで指揮を務め好評を得る。新国立劇場では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、17年よりレジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『不思議の国のアリス』などを指揮している。近年の新国立劇場以外の活動としては、新作バレエ制作の音楽監督や、バレエ音楽についての執筆・講義活動も行っている。現在、井上バレエ団音楽監督、新国立劇場バレエ研修所『バレエと音楽』講師。

配役・プロフィール

『ファイヴ・タンゴ』

2月5日(木) 19:00	2月6日(金) 19:00	2月7日(土) 13:30	2月7日(土) 18:00	2月8日(日) 14:00
小野絢子	木村優里	奥田花純	小野絢子	木村優里
福岡雄大	渡邊峻郁	井澤 駿	福岡雄大	渡邊峻郁

『テーマとヴァリエーション』

2月5日(木) 19:00	2月6日(金) 19:00	2月7日(土) 13:30	2月7日(土) 18:00	2月8日(日) 14:00
米沢 唯	柴山紗帆	米沢 唯	柴山紗帆	米沢 唯
速水渉悟	李 明賢	速水渉悟	李 明賢	速水渉悟

『ファイヴ・タンゴ』



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年D.ビントレー『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英國初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橋秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王、H.ランダー『エチュード』などを踊っている。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川銳之助賞を受賞。



奥田花純 OKUDA Kasumi <ファースト・ソリスト>

福岡県出身。田中千賀子ジュニアバレエ団で田中千賀子、下村由理恵バレエアンサンブルで篠原聖一、下村由理恵に師事する。2010年に新国立劇場バレエ団に入団。14年D.ビントレー『パゴダの王子』さくら姫役で主役デビュー。14年ソリスト、24年ファースト・ソリストに昇格。D.ビントレー『アラジン』主演、F.アシュトン『シンデレラ』秋の精、T.サーブ『イン・ジ・アップ・ルーム』、G.バランシン『シンフォニー・イン・C』第三楽章プリンシパル、『ドン・キホーテ』街の踊り子、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなどを踊っている。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <シーズン・ゲスト・プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『バゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17, 19年中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川銳之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やP.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーン、H.ランダー『エチュード』などを踊っている。18年中川銳之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

『テーマとヴァリエーション』



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『バゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、W.タケット『くるみ割り人形』クララ/金平糖の精などがある。25年『ジゼル』ロンドン公演では初日公演の主演を務め、「理想的なジゼル」と高く評された。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橋秋子優秀賞ほか受賞多数。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオDUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピツツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』をはじめとする古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』の主役、G.バランシン『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシバル>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリNYファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、21年ファースト・ソリスト、23年プリンシバルに昇格。古典作品やF.アシュトン『夏の夜の夢』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』の主役、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』などを踊っている。24年中川銳之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



李 明賢 Lee Myeonghyun <ソリスト>

韓国出身。2017年コリア国際バレエコンクール プレジュニア部門で金賞受賞。カナダ国立バレエ学校に留学後、20年韓国国立バレエに入団。22年ソウル国際バレエコンクール第1位を受賞。23年パリ・オペラ座バレエ短期契約、ユニバーサル・バレエを経て、24年新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。『ジゼル』ペザント・パ・ド・ドゥ、『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル/白ウサギなどを踊っている。25年ソリストに昇格し、『くるみ割り人形』で初主役を務めた。

イベント情報

「バレエ・コフレ 2026」の公演期間中に、
クラスレッスン見学会を開催いたします。
本番直前に舞台上で行われる新国立劇場バレエ団のクラスレッスンを特別にご見学いた大人気企画。
事前予約不要（要本公演チケット）でご参加いただけます。

日時：2026年2月6日(金)15:45～17:00

開場時間：15:15～

場所：新国立劇場 オペラパレス

料金：無料

事前予約不要／先着順



* 「バレエ・コフレ 2026」チケットをお持ちの方のみご参加いただけます（ご観劇日は問いません）。

当日、公演チケットをご提示ください。

* 見学時の座席は当日ご案内いたします。

* イベントの内容は、予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

* 止むを得ない事情により中止させていただく場合があります。何卒ご了承ください。

公演概要

2025/2026 シーズン

新国立劇場バレエ団「バレエ・コフレ 2026」

A Million Kisses to my Skin／ファイヴ・タンゴ＜新制作＞／テーマとヴァリエーション

Ballet Coffret 2026

A Million Kisses to my Skin / 5 Tango's / Theme and Variations

芸術監督 吉田 都

『A Million Kisses to my Skin』

振付 デヴィッド・ドウソン

音楽 ヨハン・ゼバスティアン・バッハ

美術 デヴィッド・ドウソン

衣裳 竹島由美子

照明 バート・ダルハイゼン

『ファイヴ・タンゴ』

振付 ハンス・ファン・マーネン

音楽 アストル・ピアソラ

美術・照明 ハンス・ファン・マーネン

衣裳 ジャン=パウル・フローム

*録音音源により上演します。

『テーマとヴァリエーション』

振付 ジョージ・バランシン

音楽 ピョートル・イリイチ・チャイコフスキイ

美術 牧野良三

衣裳 大井昌子

照明 磯野 瞳

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 富田実里

管弦楽 東京交響楽団

【公演日程】

2026年2月5日（木）19:00

2026年2月6日（金）19:00

2026年2月7日（土）13:30 **託児** / 18:00

2026年2月8日（日）14:00

*開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

託児 託児室＜キッズルーム「ドレミ」＞がご利用になります。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約2時間10分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/coffret/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	12,100円	9,900円	7,700円	5,500円	4,400円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

一般発売日：2025年11月15日（土）～好評発売中

【チケットのお求め・お問い合わせ】

＜ウェブでの予約・購入（座席選択可）＞

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/>

イープラス <https://eplus.jp/> 【Pコード：533-162】

ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード：36898】

＜電話での予約・購入＞

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999 (10:00～18:00)

【割引等のご案内】

お申し込みの際に、割引をご利用の旨お知らせください。（D・Z席は対象外）

高齢者割引（65歳以上）・学生割引：**5%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィスで取扱。

ご入場時にご年齢が記載されている証明書・学生証を確認させていただく場合がございます。

ジュニア割引（中学生以下）：**20%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィス、各プレイガイドで取扱。

ご入場時にご年齢が記載されている証明書を確認させていただく場合がございます。

当日学生割引：**50%割引**

公演当日に残席がある場合のみボックスオフィス（窓口・電話）で取扱。要学生証。

障がい者割引：**20%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）のみ取扱。要障害者手帳等。

車椅子席はボックスオフィス（窓口・電話）にてお求めください。

U25 優待チケット：**正価の半額以下**

※バレエ/ダンス/演劇公演の場合

その他、25歳以下のふだん劇場に足を運ぶ機会の少ない世代の方々に舞台芸術により親しんでいただくため、新国立劇場ではお得な優待チケットのサービスをご用意しております。

詳細はこちら：<https://www.nntt.jac.go.jp/ticket/youth-members/>